

# 『 Cisco Jabber Softphone のリリース ノート 』 : VDI-Windows リリース 12.7

First Published: 2019-09-09

Last Modified: 2020-02-13

## 12.7 のビルド番号

| Version                  | ビルド番号         |
|--------------------------|---------------|
| JVDI エージェント リリース 12.7    | 12.7.0.288594 |
| JVDI クライアントリリース12.7      | 12.7.0.288594 |
| JVDI エージェント リリース 12.7(1) | 12.7.1.301081 |
| JVDI クライアントリリース12.7 (1)  | 12.7.1.301081 |

## 『 VDI 版 Cisco Jabber Softphone の新情報 』 —Windows リリース 12.7(1)

### Cisco Jabber のサポート

Windows 版 Cisco Jabber for リリース 12.7(1) のサポートが追加されました。

### 64 ビット向けのシスコ ヘッドセットのサポート

Microsoft Windows の 64 ビット版では、シスコ ヘッドセットのコール制御のサポートが強化されています。

## 『 VDI 版 Cisco Jabber Softphone の新情報 』 : Windows リリース 12.7

### Cisco Jabber のサポート

VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、次の Windows 版 Cisco Jabber リリース12.7 の新機能をサポートしています。

- BOT サポート
- 単一回線の電話番号またはラベルを表示
- Extend & Connect のコール プロGRESS インジケータ

- チャット ルームは、参加者リストの可視性を維持する
- Cisco Webex Control Hubを介してクライアントを構成する
- [電話の会話 (Call Conversation) ] ウィンドウの [デバイス選択 (Device Selection) ] メニュー
- セキュリティ ラベルの強化
- コンテンツ管理設定(ECM)サポート
- People Insights
- Office 365 の移行認証通知の改善
- ボイスメールの改善
- 現代的なデザイン
- 更新トークンの OAuth 処理
- OAuth サインアウト動作
- オンデマンド レコーディング
- 非 Jabber アクティビティに基づくプレゼンス
- プロキシ認証サポート
- 引用メッセージ
- Themes

Cisco Jabber の新しい機能の詳細については、『*Release Notes For Windows 版 Cisco Jabber*』 (<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/jabber-windows/products-release-notes-list.html>) を参照してください。

VDI 版 Cisco Jabber Softphone でサポートされていない Cisco Jabber 機能のリストについては、[Cisco Jabber の機能, on page 9](#)を参照してください。

## CTI フェールオーバーのサポート

CTI フェールオーバーのサポートが追加されました。フェールオーバーが発生すると、ある Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャ から別のへと、Cisco JabberWindows では電話機の機能が維持されます。

## ヘッドセット設定パラメータ

このリリースには、ヘッドセットの選択を制御するための新しいパラメータが含まれています。デフォルトでは、新しいヘッドセットを接続すると、Cisco Jabberによって優先順位リストの先頭に追加されます。これは、一部のホットデキング環境の問題です。ユーザがシンクライアントとヘッドセットを移動すると、組み込みマイクが優先デバイスになります。このパラメータを設定して、ユーザのヘッドセットが優先デバイスのままになるようにすることができます。

このパラメータは、VDI 版 Cisco Jabber Softphone (すべてのプラットフォーム) にのみ適用されません。

このパラメータを使用して、Cisco Jabber が新しいデバイスを上部に追加するか、または詳細設定のデバイス プライオリティ リストの一番下に追加するかを指定できます。

- **PreferNewDevice** (デフォルト): Cisco Jabber は新しいヘッドセットをリストの上部に追加し、優先デバイスにします。
- **PreferOldDevice**: Cisco Jabber は、設定された優先デバイスに変更を加えずに、新しいヘッドセットをリストの一番下に追加します。

例:

```
<HeadsetPreferenceOnVDI>PreferOldDevice</HeadsetPreferenceOnVDI>
```

## 多回線サポート

Cisco Jabber マルチライン機能のサポートが追加されました。複数回線は、複数の設定済み回線を持つユーザに対して、保留、転送、コール転送などの通話切替機能を提供します。マルチラインはビデオコールに対しても機能します。ソフトフォン モードで、最大 8 回線を設定できます。ユーザが **Mobile & Remote Access (MRA)** を使用して Cisco Jabber にアクセスする場合、プライマリ回線のみがサポートされます。

Windows 版 Cisco Jabber では、Cisco Hosted Collaboration Solution (HCS)、Cisco Packaged Contact Center Enterprise (PCCE)、Cisco Contact Center Enterprise (CCE) および Cisco Unified Contact Center Express (CCX) 11.6 (最大 4 回線) がサポートされています。詳細については、*Cisco Jabber* の機能設定ガイドを参照してください。

## ローミング プロファイル

仮想環境では、ユーザが常に同じ仮想デスクトップにアクセスするわけではありません。一貫したユーザーエクスペリエンスを保証するには、Cisco Jabber を起動するたびにプロファイルにアクセスする必要があります。ローミングプロファイルのサポートが追加されました。VDI 版 Cisco Jabber Softphone の Cisco Jabber はユーザ データを次の場所に保存します。

```
%currentuser%\AppData\ローカル\シスコ
```

- **連絡先**: 連絡先キャッシュ ファイル
- **履歴**: コールとチャットの履歴
- **写真キャッシュ**: ディレクトリの画像をローカルにキャッシュ

```
%currentuser%\AppData\ローミング\シスコ
```

- **コンフィギュレーション**: ユーザコンフィギュレーションファイルを保持し、コンフィギュレーションストア キャッシュを保存
- **クレデンシャル**: 暗号化されたユーザ名とパスワード ファイルを保存

ファイルの暗号化と復号化は Windows ユーザプロファイルにリンクされているため、次のフォルダにアクセスできることを確認してください;

- C:\Users\username\AppData\Roaming\Microsoft\Crypto

- C:\Users \ username \AppData\Roaming\Microsoft\Credentials
- C:\Users\username\AppData\Local\Microsoft\Crypto
- C:\Users \ username \AppData\local\Microsoft\Credentials

詳細については、*Cisco Jabber* のプランニング ガイドを参照してください。

## Citrix 仮想アプリとデスクトップサポートの更新

Citrix 仮想アプリケーションとデスクトップは、以前は Citrix XenApp および Citrix XenDesktop と呼ばれていました。

VDI 版 Cisco Jabber Softphone リリース 12.7 は、Citrix ベースの公開されたデスクトップ、共有デスクトップ および共有アプリケーション (フルスクリーンモードと windows モード) をサポートしています。

## バージョン サポート戦略

Windows 版 Cisco Jabber および Cisco JVDI Agent のバージョンは常に一致している必要があります。ただし、JVDI クライアントバージョンは同じか、以前のリリース (N-1 サポート) を使用できます。次のバージョンの組み合わせがサポートされています。

- Windows 版 Cisco Jabber Release 12.7、Cisco JVDI Agent Release 12.7 および Cisco JVDI Client Release 12.7
- Windows 版 Cisco Jabber Release 12.7、Cisco JVDI Agent Release 12.7 および Cisco JVDI Client Release 12.6

## 一般的な要件

一般的な要件は、すべての VDI 版 Cisco Jabber Softphone プラットフォームに適用されます。



### Important

このガイドに記載されているコンポーネント、バージョン および最小ハードウェア要件のみがサポートされています。サポートされていないコンポーネントを使用すると、展開が機能しなくなる可能性があります。

### アクセサリ

推奨される音声およびビデオ アクセサリのリストについては、[http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc\\_endpoints\\_accessories.html](http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc_endpoints_accessories.html) の「*Unified Communications Endpoint and Client Accessories*」を参照してください。

すべての Jabra デバイスが最新のファームウェアを実行していることを確認します。Jabra Direct を使用してファームウェアを更新できます。

### Windows 版 Cisco Jabber

Cisco Jabber ホステッド仮想デスクトップ (HVD) で実行されている Windows 12.7 の場合。

仮想環境の互換性の詳細については、リリースのCisco Jabberドキュメントを参照してください。

### **Ciscoユニファイド コミュニケーション マネージャ**

**推奨:**CUCM リリース 11.5 (1) SU3 以降

**最小値:**CUCM リリース10.5

**接続ブローカー:** ホスト仮想デスクトップにインストールされます。

- Citrix 仮想アプリとデスクトップ（旧称 XenApp および XenDesktop）バージョン7.x-7.1909 および 7.15 LTSR（CU4 まで）

共有デスクトップは、フルスクリーン モードでのみサポートされます。公開されたアプリケーションは、VDI 版 Cisco Jabber Softphone (Windows) の全画面モードでサポートされています。

- VMware ホライズン 6 バージョン 6.x -7.10

接続ブローカーは、ホスト仮想デスクトップへの接続を作成するソフトウェアです。接続ブローカーは、次のような多数のタスクを実行します。

- ユーザ名を検証し、ユーザの接続を提供します。
- ユーザが特定の仮想デスクトップに接続できるようにします。

**オペレーティング システム:** ホスト仮想デスクトップにインストールされています。

- Microsoft Windows 7（32 ビット）
- Microsoft Windows 7（64 ビット）
- Microsoft Windows 8（32 ビット）
- Microsoft Windows 8（64 ビット）
- Microsoft Windows 8.1（32 ビット）
- Microsoft Windows 8.1 64（64 ビット）
- Microsoft Windows 10（32 ビット）
- Microsoft Windows 10（64 ビット）

**サーバオペレーティング システム:** ホスト仮想デスクトップにインストールされています。

- Microsoft Windows サーバ 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2016

### **ポート要件**

VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、Cisco Jabberと同じポートと、次の追加のポート範囲が必要です。

Table 1: ポートの使用

| Port Range  | 説明  |
|-------------|---|
| 16384-32767 | RTP の UDP インバウンドおよびアウトバウンドトラフィック (音声およびビデオストリーム)<br><br>このポート範囲を減らすように Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャ を設定できます。CSF デバイスに関連付けられている SIP プロファイルの <b>開始/停止メディアポート</b> の設定を変更します。 |

### サポートされるコーデック

#### オーディオ コーデック

- G.722
- G.722.1 (24 および 32k)  
G.722.1 は Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャ 8.6.1 以降でサポートされます。
- G.711 A-law
- G.711 u-law
- G.729a
- Opus  
Opus は、Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャ 11.0 以降でサポートされています。

#### ビデオ コーデック:H.264/AVC

## 要件: Windows シンクライアント



### Important

このガイドに記載されているコンポーネント、バージョン および最小ハードウェア要件のみがサポートされています。サポートされていないコンポーネントを使用すると、展開が機能しなくなる可能性があります。

### Microsoft Windows シンクライアント: ハードウェア

シンクライアントの最小システム要件は次のとおりです。

- インストール済み RAM 2 GB
- 物理メモリの空き容量 1 GB
- 空きディスク容量 256 MB

- CPU モバイル AMD Sempron プロセッサ 3600 +、2 GHz Intel Core 2 CPU、または T7400 (2.16 GHz)
- DirectX 11 互換 GPU
- USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)

**Microsoft Windows:** シンクライアントにインストールされています。

- Microsoft Windows 7 (32 ビット)  
Windows 7 (KB4019990) の更新が必要です
- Microsoft Windows 7 (64 ビット)  
X64 ベースのシステム (KB4019990) の Windows 7 の更新が必要です
- Microsoft Windows 8 (32 ビット)
- Microsoft Windows 8 (64 ビット)
- Microsoft Windows 8.1 (32 ビット)
- Microsoft Windows 8.1 (64 ビット)
- Microsoft Windows 10 (32 ビット)
- Microsoft Windows 10 (64 ビット)
- Windows シン PC 32-ビット



**Note** VDI 版 Cisco Jabber Softphone Windows は、Microsoft .NET Framework または Java モジュールを必要としません。

### Windows Embedded Standard シンクライアント: ハードウェア

シンクライアントの最小システム要件は次のとおりです。

- インストール済み RAM 2 GB
- 物理メモリの空き容量 1 GB
- 空きディスク容量 256 MB
- CPU のパフォーマンスは、ビデオの最大解像度に影響します。Windows Embedded Standard シンクライアントでは、予想される解像度は CPU によって異なります。
  - クアッドコア AMD GX-420CA SOC 2 GHz または類似の最大 720p
  - デュアルコア AMD G-T56N 1.65 GHz または類似の240p まで

- Eden X2 U4200 1 GHz または同様の CPU を介したデュアル コアによる音声のみのサポート



---

**Note** これらのハードウェア仕様は、予想される解像度のガイドラインにすぎません。その他の要因は、ビデオの解像度に影響を与える可能性があります。

---

- DirectX 11 互換 GPU
- USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)

**Windows Embedded Standard:** シンクライアントにインストールされています。

- WES Windows Embedded Standard  
Windows Embedded Standard 7 (KB4019990) の更新が必要です
- Windows Embedded Standard 7 (64 ビット)  
64-bit Systems (KB4019990) 用の Windows Embedded Standard 7 の更新が必要です
- Windows Embedded Standard 7 (64 ビット)  
64-bit Systems (KB4019990) 用の Windows Embedded Standard 8 の更新が必要
- Windows 10 IoT Enterprise

**Citrix Workspace App または VMware ホライズンクライアント:** シンクライアントにインストールされています。

- Windows 4.4 の場合は Citrix 受信者 (ICA)、最大4.12
- Windows 1808 の場合は Citrix Workspace App (ICA)、最大1907



---

**Important** VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、Microsoft ストアからダウンロードされた Citrix Workspace アプリをサポートしていません。

---

- Windows 4.1.0 の VMware ホライズンクライアント、4 および最大 5.0  
(バージョン 4.3 および 4.4 はサポートされていません)。

Citrix Workspace app または VMware ホライズンクライアントは、対応する接続ブローカーのユーザーインターフェイスを提供します。



**Important**

Cisco JVDI クライアントをインストールする前に、Citrix の受信側または VMware ホライズン クライアントをシンクライアントにインストールします。

Citrix 環境から VMware 環境（またはその逆）に変更する場合は、Cisco JVDI クライアントを再インストールします。

## 制限事項と制約事項

### コール制御アクセサリ

アクセサリコール制御（通話量の調整、電話の応答または通話の終了、音声のミュート）は、互換性のあるヘッドセットでサポートされています。他の一部のヘッドセットは基本的な機能を提供しますが、アクセサリ VDI 版 Cisco Jabber Softphone コール制御機能は使用できません。互換性のあるヘッドセットとその他のアクセサリの完全なリストについては、[https://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc\\_endpoints\\_accessories.html](https://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc_endpoints_accessories.html)を参照してください。

### コール保持

“「存続可能性」”とも呼ばれるコールの保持は、VDI 版 Cisco Jabber Softphone ではサポートされていません。ネットワークの中断が発生し、Cisco Jabber がコール保持モードになると、VDI ユーザに対してコールがドロップされます。

### 接続方法の変更

JVDI クライアントをインストールする前に、必ず Citrix または VMware をインストールする必要があります。したがって、次のいずれかの変更を行った後に、JVDI クライアントを再インストールする必要があります。

- Citrix または VMware のアップグレード
- Citrix から VMware、または VMware から Citrix への切り替え

### Cisco Jabber の機能

VDI 版 Cisco Jabber Softphone リリース 12.7 では Cisco Jabber、次の点を除き、Windows リリース 12.7 のすべての機能がサポートされています。

- アプリケーション共有（Application sharing）
- [ハブ（Hub）] メニューからのオーディオデバイスの選択
- Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony（SRST）
- カスタム連絡先の移行
- 遠端カメラ制御（FECC）
- 連邦情報処理標準 140-2（FIPS 140-2）および情報保証（IA）のコンプライアンス

- 改善されたビデオ解像度
- Cisco Jabber Jabber へのコール
- Cisco Jabber デスクフォン ビデオ（シンククライアントがユーザのデスクフォンに接続している場合にデスクトップ上に表示されるビデオ）
- Kerberos および共通アクセスカード（CAC）とシングルサインオン（SSO）  
VDI 版 Cisco Jabber Softphone は CAC をサポートせず、SSO でのみ Kerberos をサポートします。
- PreferP2PDesktopShare（Cisco Jabber 構成ファイルにある、ビデオ共有を介して人物間の画面共有を優先順位付けするための構成パラメータ）
- ワイヤレス画面共有

## Citrix を使用したリアルタイムの Webcam の HDX

VDI 版 Cisco Jabber Softphone カメラの HDX プラグアンドプレイはサポートされていません。Citrix カメラのインタラクションに HDX Webcam を使用することを推奨します。

### リモート ディスプレイ プロトコルのサポート

VDI 版 Cisco Jabber Softphone Citrix の場合、VMware および ICA では PC 上の IP (PCoIP) のみがサポートされます。

### SIP プロファイル

Cisco ユニファイドクライアント サービス フレームワーク (CSF) デバイスを作成する場合は、デバイスの **SIP プロファイル** を指定します。SIP プロファイルでは、登録タイマーおよびキープアライブタイマー、メディアポート、サイレント制御など、電話機の特定の SIP 情報を提供します。



#### Important

セキュア電話プロファイルを選択した場合は、Certificate Authority Proxy Function (capf) 認証モードを **Null** 文字列で指定しないでください。この設定を VDI 版 Cisco Jabber Softphone と併用すると、Cisco Unified Communications Manager への Cisco Jabber 登録に失敗します。

### VMware ビューでは、USB カメラ リダイレクションはサポートされていない

USB カメラリダイレクションは、VMware ビューではサポートされていません。

### VMware のサポート

VDI 版 Cisco Jabber Softphone ディスプレイ スケーリング モードはサポートされていません。ユーザは [VMware Options] メニューを確認し、[ **Allow Display Scaling** ] がオフになっていることを確認する必要があります。

VDI 版 Cisco Jabber Softphone フルスクリーン表示のみをサポートします。windows モードはサポートされていません。

## パフォーマンスと動作に関するメモ

### Jabra Bluetooth デバイスの設定の調整

ほとんどの Jabra Bluetooth デバイスでは、オーディオパスの立ち上げ時に短時間の遅延（約 1 ～ 3 秒）が発生します。サポートされている Jabra Bluetooth デバイスの場合、Jabra Direct でデバイス設定を変更すれば遅延をなくせます。詳細については、Jabra のウェブサイトをご覧ください。

#### Before you begin

Jabra Direct をインストールする必要があります。

#### Procedure

- 
- Step 1** Jabra Direct を開きます。
  - Step 2** 設定を変更する Jabra デバイスをクリックします。
  - Step 3** [設定 (Settings)] をクリックします。
  - Step 4** [ソフトフォン (PC) (Softphone (PC))] をクリックして展開します。
  - Step 5** [優先ソフトフォン (Preferred softphone)] リストから、[Cisco Jabber] を選択します。
  - Step 6** [電話回線を開く (Open phone line)] を [オン (On)] に設定します。
  - Step 7** [PC オーディオ (PC audio)] を [オフ (Off)] に設定します。
  - Step 8** [適用 (Apply)] をクリックします。
- 

### カメラのホットスワップ

VDI 版 Cisco Jabber Softphone では、通話の開始時にビデオの品質が設定されます。サポートされている HD カメラのいずれかで通話を開始してから、標準解像度のカメラに切り替えると、ビデオの品質が影響を受けます。カメラの切り替えは、通話と通話の間で行うことをお勧めします。

### シンクライアントにインストールされた Cisco Jabber

Cisco Jabber をシンクライアントにインストールしないことをお勧めします。Cisco Jabber をシンクライアントにインストールする場合は、ユーザがホストされた仮想デスクトップにログインする前に Cisco Jabber からサインアウトしてください。VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、Cisco Jabber が HVD にインストールされている場合にのみ動作します。

### Echo Cancellation

エコー キャンセレーションは、音声コールに対してのみ有効になります。

### Jabra ファームウェア

すべての Jabra デバイスが最新のファームウェアを実行していることを確認します。Jabra Direct を使用してファームウェアを更新できます。詳細については、Jabra のウェブサイトをご覧ください。

## ビデオコーデックのパフォーマンス

ソフトウェアのデコードは CPU に大きく依存します。下位の Cpu を使用した Cisco JVDI Client の推定 cpu 使用率は次のとおりです。

- 1.5 ghz、デュアルコア CPU: 65%(55 to 75%)
- 1.5 GHz、クアッドコア CPU: 35% (25~45%)

組み込みのハードウェアデコーダを搭載したカメラを使用すると、CPU の負荷が軽減されます。

## 注意

### バグの重大度レベル

既知の不具合またはバグには、不具合の優先度を示す重大度レベルが設定されています。これらのリリースノートには次のバグタイプが含まれています。

- 重大度レベル 1 または 2 のすべてのバグ
- 重大度レベル 3 の重要なバグ
- 重大度レベル 6 の機能拡張要求を除く、お客様が発見したすべてのバグ

| 重要度                     | 説明  |
|-------------------------|---|
| 1 壊滅的<br>(Catastrophic) | ほぼ一般的な状況において、システム全体が機能不全に陥る、または主なサブシステムの動作が停止する、またはネットワーク上の他の装置が妨害を受けるが、回避策がありません。                      |
| 2 重大 (Severe)           | 重要な機能が使用できなくなり、回避策がありません。その他の機能および残りのネットワークは正常に動作します。   |
| 3 中程度<br>(Moderate)     | 異例の状況で機能不全に陥るか、重要度の低い機能がまったく使用できなくなります。または、その他の機能不全に陥りますが影響を小さくする回避策があります。<br><br>ドキュメンテーションバグの最も高いレベル。 |
| 4 軽微 (Minor)            | 極めて異例の状況で機能不全に陥りますが、動作は基本的に特に操作しなくても回復します。ユーザは回避策を講じる必要はなく、パフォーマンスへの影響は許容範囲内です。                         |
| 5 表面的<br>(Cosmetic)     | システムの機能に対する悪影響はありません。   |
| 6 機能強化<br>(Enhancement) | 新機能または機能改善に対する要求です。   |

## バグの検索

ここに示されていないバグを検索するには、バグ検索ツールを使用します。

### Procedure

- 
- Step 1** バグ検索ツールにアクセスするには、<https://tools.cisco.com/bugsearch/search>をクリックします。
  - Step 2** 自分の Cisco.com のユーザ ID とパスワードでサインインします。
  - Step 3** 特定の問題の情報を検索するには、[検索 (Search for)] フィールドにバグ ID 番号を入力して Enter を押します。または、製品およびリリースで検索できます。
- 

### リリース 12.7(1) で未解決の問題

このリリースに未解決の不具合 (バグ) はありません。

### リリース 12.7 (1) で解決済みの問題

次の表が、このリリースで修正される問題 (バグ) の注意事項です。

| 警告 ID 番号                   | 重大度 | 説明   |
|----------------------------|-----|--|
| <a href="#">CSCvr46635</a> | 2   | ビデオ コールで JVDI Client の Windows 7 のコール制御が表示されない |
| <a href="#">CSCvr63558</a> | 3   | VXME ビデオが無効になっているにもかかわらず自動的に開始される              |

### リリース 12.7 で未解決の問題

| 警告 ID 番号                   | 重大度 | 説明                    |
|----------------------------|-----|-----------------------|
| <a href="#">CSCvq33970</a> | 2   | VXME 11.9 からの SIP 遅延。 |

### リリース 12.7 で解決済みの問題

次の表が、このリリースで修正される問題 (バグ) の注意事項です。

| 警告 ID 番号                   | 重大度 | 説明   |
|----------------------------|-----|--|
| <a href="#">CSCvk25632</a> | 3   | Jabber 前のコールからのビデオのほんの一瞬が見られます                 |
| <a href="#">CSCvq22868</a> | 3   | VDI の Windows 用 Jabber のリダイレクトされたコールの発信者 ID 表示 |
| <a href="#">CSCvq59211</a> | 3   | [VMware]JVDI ソフトフォンが再接続されません                   |
| <a href="#">CSCvr15121</a> | 3   | Jabber HVD は Exp-E 証明書を検証できません                 |

| 警告 ID 番号                   | 重大度 | 説明  |
|----------------------------|-----|---|
| <a href="#">CSCvr13324</a> | 4   | VXME for Windows 12.6.1-シンクライアントデスクトップに保存された jabber.log ファイル        |
| <a href="#">CSCvp95567</a> | 6   | [電話の会話 (Call Conversation)] ウィンドウの [デバイス選択 (Device Selection)] メニュー |

---

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at [www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices).

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2021 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.